

解 禁	新聞・テレビ・ラジオ
	平成28年11月1日

入札監視委員会の審議概要について

記 者 発 表 資 料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成28年度第2回)が、平成28年9月21日(水)に沖縄総合事務局において開催されました。
審議内容は別紙のとおりです。

平成28年11月1日

沖縄総合事務局

記 者 発 表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 金田 好章

契約管理係長 下地 公介

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成28年度第2回) 審議概要

開催日及び場所	平成28年9月21日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委員	委員長 井上 章二 (琉球大学農学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 原 久夫 (琉球大学工学部准教授) 委員 村上 尚子 (弁護士)	
	(委員は50音順:敬称略)	
審議対象期間	平成28年4月1日～平成28年6月30日	
抽出案件件	総件数 5 件	(備考)
工事	一般競争 (政府調達)	1 件
	一般競争	2 件
	公募型指名競争	0 件
	工事希望型競争	0 件
	通常指名競争	0 件
	随意契約	0 件
	建設コンサルタント業務等	1 件
	役務の提供等及び物品の製造等	1 件
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回答
定例報告 1 入札・契約に関する状況等 2 対象期間における発注案件について 3 指名停止措置の運用状況 4 再度入札における工事別一位不動状況 5 一者入札推移	<ul style="list-style-type: none">○ 前年同期比で多少減ってはいるが、まだ一者入札が多いのが現状であり、何か取り組みが必要ではないか。・これまでの取り組みで若干でも成果が出ているものもあるが、引き続き改善に努めて参りたい。
抽出事案 1 工事 ◆ 那覇空港滑走路増設南側進入灯橋梁工事 ○ 技術提案の評価の際に、技術者ヒアリングを今回行っていないのはなぜか。	<ul style="list-style-type: none">・今回の工事内容はこれまでに発注実績があるので、技術提案の内容を審査することで評価できるため、ヒアリングは実施しなかった。
◆ 平成28年度北部国道道路維持・修繕工事 ○ 施工体制確認資料提出辞退のため入札無効となった者が半数というのは多いと感じるが、よくあることなのか。	<ul style="list-style-type: none">・当該資料作成の事務負担を嫌って辞退するケースは多く、また、企業の受注意欲が高い案件の場合、予定価格ギリギリを狙った結果として低入札が一定数出ることも少なくない。
◆ 平成28年度糸満道路舗装工事 ○ 発注方式のチャレンジ型総合評価方式とはどのような特徴があるのか。	<ul style="list-style-type: none">・比較的難易度の低い工事を対象に、企業の実績よりも施工計画の提案内容をより評価することで、新しい企業や若い技術者に参加の機会を増やすもの。
2 建設コンサルタント業務等 ◆ 沖縄管内における港湾空港施設整備等高度化研究委託 ○ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約方式とはどのようなものか。	<ul style="list-style-type: none">・特定の者との契約を考えているが、他に受注可能な者がいるかどうかを確認し、応募者がいれば競争手続きに移行、いなければ当該者と随意契約する方式である。
3 役務の提供等及び物品の製造等 ◆ 八重岳レーダ雨量計基地局装置外製造 ○ 受注企業以外で本件物品を製造しているところはないのか。	<ul style="list-style-type: none">・もう1社あり入札関係資料を取りに来たが、結果として入札には参加しなかった。